

統合後の学校における標準服等の検討について

学校適正配置検討会議でのこれまでの説明事項等

- 標準服等について、「統合後、木川小学校の標準服に統一する」といった考え方を決定事項とはしていません。
- 標準服、体操服、通学帽、給食着（以下「標準服等」という。）については、最短で令和 10 年 4 月予定の統合実施時点では、一つの案に決定している必要があります。仮に変更を行うのであれば、遅くとも令和 8 年 3 月頃に開催予定の第 9 回検討会議の時点までには最終的な方向性を決める必要があります。
- 標準服等を決める際の選択肢としては、大きくは次のとおりと考えております。
 - ① 木川小学校で用いられている現在の標準服等をそのまま用いる。
 - ② 新たな標準服等を作成する。（一部のみの場合もあり。）
 - ③ 標準服等については、「指定なし（服装自由）」とする。

学校適正配置検討会議での各委員からの標準服等に関する主な意見聴取経過

- 第 1 回会議（令和 5 年 3 月 23 日）
 - ・学校適正配置検討会議は、統合後の木川小学校の学校名や校章、校歌、標準服などについて意見聴取する場であり審議・採決を行うものではないこと、意見の方向性が定まった場合は、その意見をもとに区役所、教育委員会事務局で検討し決定を行うことの確認。
- 第 2 回会議（令和 5 年 9 月 6 日）
 - ・標準服等のデザインを変更する場合、統合年度の児童が購入する際の経費に対して予算措置される予定であることの確認。
 - ・統合後の学校名や校章、校歌、標準服等については、地域の方や保護者の方からの関心が非常に高い部分であるため、ある程度の日程が必要。別の部会等で意見聴取する必要もあるのではないかとのご意見。
- 第 3 回会議（令和 6 年 3 月 1 日）
 - ・統合後の学校名や校章、校歌、標準服等については、「現行の木川小学校のものから変更するかどうか」の方針を、3 校の児童の保護者や地域住民にアンケートを取って、意見を参考するか多数決にしてはどうか。根拠となる数値がある方が、方針を決めやすく納得しやすいのではないかとのご意見。
- 第 4 回会議（令和 6 年 9 月 10 日）
 - ・標準服等に関しては、現役の保護者の関心の高い部分であるため、意見を募ってみても良いのではないかと。
 - ・標準服等については、保護者の意見を聞く機会があってもいいとは思いますが、各校区とも保護者の代表（PTA 役員等）が検討会議の委員になっているので、委員を通して、保護者の意見を集約していく方法もあると思う。アンケートを実施する場合は、アンケート内容や実施の仕方等を、十

分に検討する必要がある、慎重な取り扱いが必要と考える。(会議後に寄せられたご意見)

○ 第5回会議(令和7年3月4日)

- ・標準服等について、前回(第4回)会議でも、保護者の意見として標準服等があったら助かるという意見があったため、学校ごとに保護者の意見をまとめたうえで、それを各校区の意見として検討してはどうか。(各校で人数の差があるため、人数比ではなく各校1票ずつとする)
- ・標準服等の取扱いについて、性別による指定はないとのことであるが、実際の対応状況はどうか。

前回第6回会議の「ご意見票」等でいただいたご意見

◇：肯定的な意見 ◆：否定的な意見 ◆：その他の意見

<標準服について>

- ◇購入費用は必要だが、行事のたびに衣類を購入する必要や華美になることもなく、結局もっとも経済的である。
- ◇登下校中であることが一目でわかるので防犯面で標準服がよい。
- ◇何を着ていくか悩む必要がないので、朝の用意の時間短縮になり楽である。
- ◇保護者の経済格差で子どもがいじめられたりする心配がない。
- ◇標準服があることを魅力に感じて、他校区から学校を選択して通わせている保護者は多い。
- ◆買い替え時の保護者負担が心配。
- ◆気候や温度に合わせた柔軟な対応ができない。
- ◆標準服になった場合、譲渡会やリサイクルなど、費用負担を抑える仕組みがあると助かる。
- ◆標準服を採用しても、私服を希望する保護者・児童の対応を考える必要がある。
- ◆標準服とする場合でも、この機会に長ズボンや防寒着などの運用を見直してほしい。

<私服について>

- ◇成長に合わせたサイズのを自由に着せることができる。
- ◇寒暖差に合わせて自由なタイミングで好きなものを着られるので、体調管理面で私服がよい。
- ◇子どもたちの個性を大切にすることができる。
- ◇その日の服装を子どもたちが自分で考えることも勉強のひとつである。
- ◆私服は費用がかかり家庭の経済状況や格差が可視化されてしまうため、いじめなどが心配。
- ◆いつも同じ服を着ている、他の子の服を羨ましがる、「ださい」などで、いじめに発展しないか心配。
- ◆式典の際の服装など、各家庭の価値観の相違がトラブルにならないか心配。結局〇〇は禁止など、無駄なルールが増えるのではないか。
- ◆華美になりすぎると、教育の場にはそぐわない。
- ◆子どもの成長により好みを主張するようになると出費がかさむ。
- ◆標準服があることで学校を選択した保護者に対して説明がつかない。

<新しい標準服について>

- ◆統合時に公費負担で手に入っても、その後の買い替えや、未就学児の下の子が入学するときの負

担が心配。

- ◆公費で負担されるとしても無駄遣いだと感じる。今までのお下がりやストックが使えなくなるデメリットを負ってまでわざわざ新しい制服に変える必要はない。
- ◆新しい標準服にすると、統合時に2年生になる児童は、入学時に購入した標準服を1年で廃棄することになる。また、今までのリサイクルのためのストックが使えなくなってしまう。
- ◆SDGs が叫ばれている時代に、わざわざストックを無駄にしてまで3校の児童全員に新しい標準服を作るのはもったいない。
- ◆今の時代に合わせたジェンダーフリーなものにしてほしい。
- ◆校章を入れないようにして、学校指定の物だけでなく市販品で代用できるようにしてほしい。

<既存の標準服について>

- ◇統合時の人数比を考えると、木川小学校の標準服とするのが多くの面でベストである。
- ◇今までのストックをそのまま使用できるので、保護者の負担が最も軽くて済む。

<その他>

- ◆統合から卒業までの数年間は、経過措置として今までの学校の標準服または私服を着用可としてほしい。
- ◆統合後の新1年生やサイズアウトの買い替え時から新しい標準服にするのがよい。
- ◆（経過措置等で）統合後の標準服が統一されていない場合、子どもたちの間で一体感がなく、隔たりが生まれてしまうのではないか。

- このように非常に多様な意見があり、これまでに告示している資料をもとにした検討会議での議論だけでは今後も意見の収束は難しく、区役所としても、現在の状況で1つの方向性に絞ることはできないと考えています。

今後の流れ

- 上記の状況を踏まえ、第7回検討会議終了後、10月中旬から下旬にかけて3校の保護者を対象に、標準服等の取扱いに関する意向調査（アンケート）を実施します。
- アンケートは、これまでの検討会議で告示した資料の概要を提示した上で、「現在の木川小学校の標準服を採用する」「新しい標準服を作成する」「服装自由（私服）とする」の3つから選択回答する形式とします。
 - ※ 「現在の標準服」は木川小学校／木川南小学校の2種類が考えられますが、上記のご意見の内容を踏まえ、選択肢は「現在の木川小学校の標準服」とします。
- アンケートは各学校を通じて配付し、2週間程度の期限を設けて区役所で集約します。なお、きょうだいが複数在籍している場合は1番上の児童を通じて提出することとします。
- アンケートの結果を参考に、12月に予定している次回の第8回学校適正配置検討会議において、統合後の学校における標準服等の取扱いを告示する予定です。